

木住野佳子

The 30th Anniversary & New Release Concert

“Reminiscence”



木住野 佳子 (p) / 中西 俊博 (vln) / 小沼 ようすけ (gt) / 西嶋 徹 (b) / 岡部 洋一 (per)

2026 4.25 土 開演18:30 (開場18:00)

ヤマハホール (「銀座駅」A3出口より徒歩5分 / 「新橋駅」銀座口出口 徒歩7分)

チケット

前売 8,000円 / 当日 8,500円 (全席指定 / 全て税込)

※ 未就学児入場不可 / 前売で完売した場合、当日券の販売はありません。

<プレイガイド> CNプレイガイド 0570-08-9999

アオイチケット <http://cncn.jp/kishino30th>

お問合せ

アオイスタジオ: 03-3585-6178 (平日11:00~16:00)

主催: アオイスタジオ / 企画制作: ヨシヨシ・ミュージック / 協賛: 株式会社ヤマハミュージックジャパン

12月10日発売



木住野佳子30周年記念コンサート

多彩な才能と美しいサウンドでジャズの域を超えて輝くピアニスト、木住野佳子のデビュー30年を振り返る記念公演。

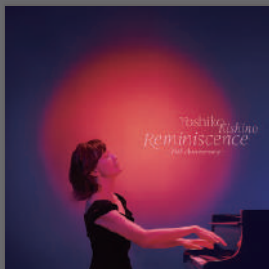
美しく力強く輝いた30年、世界最強のピアノ、ベーゼンドルファーmodel290 インペリアルとともに進化する“木住野ワールド”をお楽しみください。

■ NEW CD & LP ■

Reminiscence

～レミニセンス～

美しく力強く輝いた30年、ジャンルを超え、常に進化する“木住野ワールド”。
ジャズ界トップランナーの参加を得て完成した記念アルバムは余りにもセンシメンタル・ビューティー！



- 01 Reminiscence (木住野佳子)
- 02 Red Rhapsody (木住野佳子)
- 03 Lilac Snow (木住野佳子)
- 04 Echoes Of Tide (木住野佳子)
- 05 Ruby Wizard (木住野佳子)
- 06 紫陽花 (木住野佳子)
- 07 Step By Step (木住野佳子)
- 08 空のかげら (木住野佳子)
- 09 Overjoyed (スティービー・ワンダー)
- 10 遙かなる旅 (木住野佳子)
- 11 雪待月 (木住野佳子)
- 12 Imagine (ジョン・レノン)

木住野 佳子(p)
中西 俊博(vln)
小沼 ようすけ(gt)
西嶋 徹(b)
岡部 洋一(per)

POCS-2014 (CD) ¥3,000
POJS-1001 (LP) ¥5,500

NOW ON SALE !

■ PROFILE ■



木住野 佳子(ピアノ)

1995年、アメリカの名門レーベルGRPより日本人初のインターナショナル・アーティストとして世界デビューを飾り、2025年にはメジャーデビュー30年を迎え記念アルバム「Reminiscence」を発表！現在までに通算21枚のアルバムを出している。年間40～50日の演奏活動は日本以外にも、ニューヨーク、イタリア、フランス、スウェーデンなどで行う他、CM、映画音楽など多彩な活動を展開している。
優美で端正なそのピアノとサウンドはジャズの域を超え、独自の音楽性を確立し、人気実力派ピアニストとして不動の地位を得ている。
過去にスイングジャーナル誌のゴールドディスクを4度受賞している。
Official site: <http://www.kishino.net>



中西 俊博(ヴァイオリン)

東京芸術大学卒業。ポップスバイオリン、エレキバイオリンの先駆者的存在として知られている。
多様なジャンルを表現するバイオリン奏者として常に音楽界の第一線で活躍し、5弦・6弦・15弦バイオリンをも自在に操る。
ジャズバイオリンの巨匠ステファン・グラッペリ、フランク・シナトラ、クインシー・ジョーンズ等、国内外のアーティストとも共演。坂本龍一、久石譲、桑田佳祐、Mr.Children、井上陽水、布袋寅泰、大貫妙子などのアルバム制作をはじめ、数多くの楽曲制作、編曲、演奏を担当。NHK趣味悠々「バイオリンは友だち」ではバイオリニスト・千住真理子とともにW講師を務めた。
作曲したテレビCM曲は150本以上、「釣りバカ日誌」「さらば愛しき人よ」などの映画やドラマ音楽も手掛けている。ゲーム音楽「マリオカート」ではバイオリンソロを担当。近年のNHK連続テレビ小説「スカーレット」に続き、2024年NHK大河ドラマ「光る君へ」では劇中曲でソロ演奏を担当している。



小沼 ようすけ(ギター)

秋田県出身。1999年 ギブソンジャズギターコンテスト優勝。
2001年にSONY MUSICよりデビュー。2004年、リチャード・ボナ (ba)、アリ・ホニッグ(dr)をフィーチャーしたトリオアルバム "Three Primary Colors"をNyで録音。
2010年「Jam Ka」発売。グアドループの民族音楽グオッカの太鼓(ka)がフィーチャーされたこの作品で独自の世界観を展開。
2016年、パリで録音された「Jam Ka Deux」をリリース。この作品をきっかけにParisやMunichのジャズクラブ、Martinique Jazz festival、グオッカの本拠地Guadeloupeで行われた "Festival Eritaj"に出演。ジャズをベースに様々な国を旅して得た影響、経験を音楽に採り入れながら、世界を音で繋ぐ創作活動を続けるギタリスト。最新作は初のソロギター作品『Your Smile』。www.yosukeonuma.com



西嶋 徹(ベース)

1973年、東京生まれ。5歳よりヴァイオリンを始め、高校の頃ベースを手にする。ジャズとアルゼンチンタンゴを軸に、これまで綾戸智恵、小野リサ、カルメンマキ、小松亮太、葉加瀬太郎、Pablo Zieglerなど、多くのアーティストのレコーディングやコンサートに参加。その他数多くの舞台やミュージカル作品にも参加。現在は、三枝伸太郎Orquesta de la Esperanza、鬼怒無月Quinteto、吉田篤貴Emo strings、喜多直毅trio、西山暉trioなどのグループに参加し、主にライブシーンを中心にジャンルを超えた幅広い分野で活動している。2014年には、ピアニスト林正樹と共にアルバム「El retratador」をリリース、2018年にはベースソロアルバム「Phenomenology」をリリース。2021年には、藤本一馬(gt)、栗林すみれ(pf)、福盛進也(dr)とのグループRemboatでアルバム「星を漕ぐもの」をリリース。2024年、自己のリーダープロジェクトとして蒼波花音(sax)、遠藤ふみ(pf)、と共にアルバム「幽けき刻」をリリース。



岡部 洋一(パーカッション)

1962年生まれ。高校時代からパーカッションの演奏を始める。大学在学中にブラジル音楽と出会い、卒業前からプロとしての活動を開始。
ジャズ系、ロック系のコンサートやライブハウスへの出演が増え、また来日ブラジル人ミュージシャンとの共演も多い。もともと好きだったアバンギャルドな音楽を演奏する機会も多くなり、最近ではどんどん深みにはまってゆく日々を過ごしている。現在、トランスロックバンドとしてコアなファンをもつ「ROVO」や、「ボンデー・フルーツ」、また16人編成のロックバンド、「ザ・スリル」のメンバーでもある。おもな共演アーティストは、バーデン・パウエル、大貫妙子、ショーロ・クラブ、向井滋春、小野リサ、村田陽一、溝口肇、中西俊博、井上鑑、epo、酒井俊、城戸夕果、ホッピー神山、角松敏生等々。2001年、初のリーダーアルバム「SATIATION」を、2007年にはソロ・パフォーマンスを収めた「感覚の地平線」をリリース。グレッシーなブレイで心に火をつけるアーティストックな打楽器奏者である。

■ 会場へのアクセス ■

ヤマハホール 〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14

- ・東京メトロ 銀座線・丸ノ内線・日比谷線「銀座駅」A3出口 / 徒歩5分
- ・東京メトロ 銀座線・都営地下鉄 浅草線、JR 京浜東北線・東海道線・横須賀線、ゆりかもめ「新橋駅」銀座口出口 / 徒歩7分

03-3572-3139 (ヤマハ銀座店 ホール運営チーム)

